



▲入学式を終え、教室に戻った乙姫小の新1年生。

＝小学校児童数＝

学校名	新入生数	児童数	学校名	新入生数	児童数
宮地小	61	376	坂梨小	19	105
中通小	6	39	古城小	12	60
碧水小	49	255	乙姫小	13	64
阿蘇西小	23	141	尾ヶ石東部小	10	53
内牧小	53	339	山田小	8	78
波野小	14	80			

＝中学校生徒数＝

学校名	新入生数	生徒数	学校名	新入生数	生徒数
一の宮中	106	302	阿蘇中	61	192
阿蘇北中	124	375	波野中	12	47

まちのわだい

入学おめでとう！

～期待に胸がくらくらませ新学期～

市内小・中学校の入学式が、4月8・11日に行われ、小学校に268人、中学校に303人が入学しました。入学に伴い、小学校1年生に、(株)キューネットから防犯ベル、マクドナルドから防犯笛が、教育委員会と阿蘇一の宮ライオンズクラブから黄色い帽子が贈られました。

県下初の青色パトカー巡回スタート



昨年11月に道路運送車両法の保安基準が緩和され、青色回転灯のパトローカーの使用が可能となり、これをうけ阿蘇地区交通安全協会長の岩下哲三氏(上役犬原)が市に車両を寄贈しました。

3月27日、中川竹久氏を隊長とする阿蘇防犯パトロール隊10人に熊本県警察本部長から、パトロール実施者証が交付されました。

阿蘇市から委託を受け、週1回程度巡回パトロールを行っています。青色防犯パトカーの導入は熊本県下初の試みで、その運用が注目されています。

ボランティアで巡回協力いただく「阿蘇防犯パトロール隊」の皆さん

中川竹久	坂梨	成瀬優幸	内牧
森本光義	中通	森勇三	内牧
井上栄一	宮地	坂本英次	内牧
大倉幸也	山田	岩佐孝之祐	小里
岡本宗徳	内牧	石本久明	内牧



まちの わだい

地域と行政の パイプ役として



初代阿蘇市区長会長
福島 鐵 治さん(宮地)

区長は、行政文書の回覧・配布、要望書等の提出など、地域と行政とのパイプ役としての活動を行います。今後は、活気ある地域づくりにも目を向け、地区の行事や環境美化活動など課題解決に取り組んでいきたいと思えます。地域の皆様も区長活動にご協力をお願いします。

阿蘇市区長会設立総会が4月8日に阿蘇いこいの村で開催され、新旧区長153名が参加しました。総会の前に、辞令交付が行われ、市長が「活力のある、夢の持てる阿蘇市となるように」と協力していきたいと思えます。よろしく願います」と挨拶。総会では、暫定区長会長の森山幸義さん(内牧2区)が「これまでの活動内容と変ることもありますが、旧町村・各区のよいところを吸収しつつ、市の区長会が存在感のある団体となるよう頑張ります」と挨拶し、区長会会則や各役員が決まりました。



あれを使って?

～川の浄化「大作戦」～

阿蘇町商工会青年部(38人)は、昔遊んだ親しみある川を昔のように美しくしたいと花原川(西湯浦周辺)に竹炭を沈め浄化を試んでいます。

昨年12月、竹炭をみかんネット網200袋に詰め、川に沈めた部員。4月9日は、「竹炭が汚れた、交換します」と詰め替えのための引き上げ作業が行われました。

この付近は毎年、蛍が見られます。青年部ががんばってますので、ぜひ、花原川に蛍を見に来てください。



地域の河川清掃に汗

東黒川地区の古閑川は流水が少なく、ゴミや流木が残る状態になり、地域住民を悩ませています。

それを見かねた周辺住民の皆さんが、4月9日、河川に降り、大がかりな清掃活動を行いました。

「大人の捨てたゴミの山は子どもたちに見せられん」とチェーンソーで流木を切り、ゴミを片付ける姿に頭が下がりました。



『清らかな水の生れる里』の 全国発信に向け

ま
ち
の
わ
だ
い



▲講演会の様子（JA阿蘇一の宮中央支所）。
講師は熊本大学工学部元教授 下津昌司氏、西日本技術開発(株) 西園幸久氏。

～みどり水土里ネット一の宮が 講演会実施～

一の宮土地改良区（愛称・水土里ネット一の宮 理事長吉田満雄氏）は、阿蘇の水を専門的視野からも知ってほしいと3月29日、講演会を開催しました。

講演には組合員のほか、水土里ネット一の宮が近々発足させる「阿蘇の自然（水土里）を守る会」に協賛するボランティア団体やJA、各種団体の方々も参加。阿蘇カルデラが九州の水がめであることなど知った参加者は「阿蘇は地面の下までスケールが違う。これにふさわしい農業を目指したい」と自然の恵みを改めて実感されました。

土地改良区では、引き続き今後も「田んぼの学校 in 阿蘇ん里」（水土里ネット阿蘇と共同）などを展開し環境保全活動に取り組まれます。

阿蘇西・跡ヶ瀬 コミュニティーセンター完成

3月31日、阿蘇西・跡ヶ瀬コミュニティーセンター（公民館施設）が完成し、地域上げての落成式が行われました。

式では、坂口静義跡ヶ瀬区長が「前の公民館は私が幼い頃若い人たちが懸命に造ったもの。名残り惜しいが、こんなにすばらしい公民館ができた、前区長などによる努力の賜物。今後、阿蘇西部の地域住民の交流の場として毎日のように利用されることを願う」と挨拶。この後、子供会が安木節を披露するなどし落成を祝いました。

施設は延べ床面積247㎡、大小会議室、調理室、和室がある木造平屋建て。



市営温泉「夢の湯」に 「もりいやしの杜」完成

阿蘇駅前の市営温泉「夢の湯」地域交流広場整備工事にあたっては、ご利用の際、大変ご迷惑をおかけしました。

温泉浴で身体をいやし、杜でゆっくりリラックスなひとときを過ごしていただく、夢公園がこのほど完成しました。

街灯も設置され、夜の感じも好評です。絶景な場所となりましたので、ぜひ、ご利用ください。

まちの わだい

▶ 音声ガイダンスシステムで、英語・中国語・韓国語対応となる。5面マルチスクリーン。



～楽しく体験、学べる施設へ～

阿蘇火山博物館 リニューアル



* 救護所＝阿蘇火山博物館に併設しています。応急処置をしますので、急病やケガなどの際ご利用ください。

昨年、財団法人化し「阿蘇火山博物館久木文化財団」（理事長 久木 康 阿蘇製薬グループ社主）として、新しく生まれ変わった阿蘇火山博物館は「世界の阿蘇」にふさわしい価値の高い博物館を目指し、今年から数年かけ館内事業のリニューアルを図ります。

開館当初設置された「火口カメラ」は、学術・防災・教育面において今もお役立っているところですが、今後さらに博物館活動の充実化を図る計画で・熊本大学、京都大学はじめ在熊の大学による研究成果の反映 ・学校などの体験活動の実施 ・大画面（5面）映像の3カ国語対応ヘッドホンの導入 ・常時看護師のいる救護所設置など行っています。

体験学習・環境学習・防災教育に取り組む阿蘇火山博物館。この夏も様々な企画が用意されています。詳しいお問い合わせはTel：34-2111までどうぞ。

老人クラブ連合会「合併調印式」迎える

旧3町村の老人クラブを一つにと昨年9月合併協議会を設立、8ヵ月間にわたる協議会委員の熱意と努力により統合が成立し、4月15日、阿蘇いこいの村で、合併調印式が行われました。

調印は、阿蘇地域振興局長、熊本県老人クラブ連合会長、市長などの来賓、合併協議会役員立会いの下、旧老人会長江藤晃氏（一の宮町）、竹原守孝氏（阿蘇町）、阿南重継氏（波野村）が署名、結束を誓いました。

合併により、クラブ数113、会員数6,200人超の「阿蘇市老人クラブ連合会」が誕生しました。これから、理事会を経て総会で新会長が決まる予定です。

